

MUJI 無印良品

洗濯機 6kg 家庭用

型番 MJ-W60

設置ガイド

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この設置ガイドをよくお読みの上、正しく設置してください。
- 設置する前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 設置ガイドと取扱説明書は、いつでも見られるように大切に保管してください。

日本国内専用
Use only in Japan.

設置は必ず専門業者にご依頼ください。お客様による設置は、おすすめしておりません。

《据え付けされる方へ》

- 本機の機能が十分に発揮されるように、本書に記載の内容にそって正しく設置してください。
- 本書に記載の内容に従って正しく設置しなかった場合、事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。
- タイマーで電源供給をON／OFFする配線器具は使用しないでください。
- 設置する前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 設置後は、10ページのチェック項目を必ず確認してください。
- 設置後は、必ず試運転を行ない、水もれや異常音が発生しないか確認してください。

お願い

- 梱包材を廃棄するときは、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。
- 天災などの不可抗力やお取り扱い上の不注意、不当な修理や改造による故障、破損に対する保証はいたしかねます。
- 本機は業務用ではなく、家庭での使用を目的としております。これ以外の用途では使用しないでください。

安全上のご注意

お使いになるご本人や周囲の人々への危害や物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

表示の分類

本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。

⚠ 警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

⚠ 注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

使用上お守りいただく内容を図記号で説明しています。

⊘ は、してはいけない「禁止」の内容を示します。

❗ は、必ず実行していただく「強制」の内容を示します。

⚠ 警告



改造はしない。修理技術者以外の人
は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。修理は
無印良品修理工房にご相談ください。

異常・故障時



異常・故障時にはすぐに使用を中止する
火災・感電・けがの原因となります。
すぐに電源を切りコンセントから電源プラグ
を抜いて、水栓を閉じ、無印良品修理工房
に点検・修理を依頼してください。
《異常・故障例》
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
・電源コードを動かすと通電したりしなかつ
たりする
・いつもより異常に熱くなったりこげくさい
においがする
・製品に触れるとビリビリする
・自動的に切れないことがある

電源プラグ・電源コードについて



電源コードを傷つけたり、破損したり、
加工したり、無理に曲げたり、引っ張つ
たり、ねじったり、たばねて使用したり、
ものをのせたり、挟み込んだり、高温
部に近づけたりしない
火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは
使用しない
感電・ショート・発火の原因となります。



AC100V以外では使用しない
火災・感電の原因となります。



ぬれた手で、電源プラグを抜き差しし
ない
感電やけがの原因となります。



電源プラグは清潔にする。刃および刃
の取り付け面に付いたほこりは定期的
に乾いた布で拭き取る
ほこりが付着したまま電源プラグを差し込む
と、ショート・火災の原因となります。



電源プラグはコンセントの奥までしっ
かり差し込む
感電・ショート・発火・発煙の原因となります。



定格15A以上のコンセントを単独で使
用する
他の器具と併用するとコンセント部が発火す
る原因となります。



電源プラグを乳幼児が誤ってなめない
ように注意する
感電やけがの原因となります。



電源プラグを抜くときは電源コードを持
たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電・ショートの原因となることがあります。

据え付けについて



水のかかりやすい場所（ベランダ・庭
など）や、湿気が多い場所（浴室など）
には据え付けない
感電や漏電火災の原因になります。



確実に排水できる場所に置く
排水不良による漏電で、火災・感電の原因
になります。



本体底に付属の保護カバーを取り付ける
回転する部分などでけがや感電のおそれ
があります。



アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電するおそれあり
ます。アース工事は、必ず電気工事店に依
頼してください。

⚠ 注意



直射日光のあたる場所には据え付けない
プラスチック部品の変色・変形の原因になります。



高い場所や不安定な場所には設置しない
脱水時の異常振動によるけがや本体の破損・
水もれなどのおそれがあります。



50℃以上のお湯を使わない、給湯機
器とつながない
プラスチック部分が変形し、漏電・感電や水
もれの原因になります。

設置のしかた

1 据え付け場所の確認

⚠ 警告



水のかかりやすい場所（ベランダ・庭など）や、湿気が多い場所（浴室など）には
据え付けない

感電や漏電火災の原因になります。



確実に排水できる場所に置く

排水不良による漏電で、火災・感電の原因になります。

本体は排水ホース側が壁から10cm以上、
反対側は5cm以上、裏側は2cm以上離す

異常な振動や音を防ぐためです。

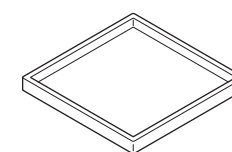
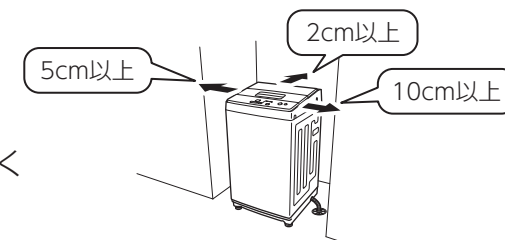
※真下排水パイプを使用するときは、排水ホース側は壁から
15 cm以上離す。

しっかり安定した水平な床に据え付ける

傾斜した床や弱い床、不安定な台の上は振動や騒音が大き
くなります。

洗濯機トレイの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと本体の内側に結露（露つき）が発生します。この結
露や万一の水はねで床面をぬらすことを防止するため、洗濯パン（防水パン）
のない場所に洗濯機を設置する場合は、市販の「洗濯機トレイ」をご使用くだ
さい。

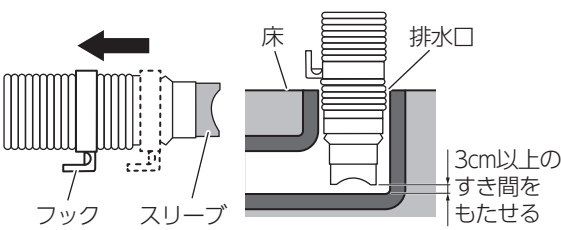


■次のような場所には、設置しないでください。

- ・直射日光のあたる場所
プラスチック部品の変色・変形の原因になります。
- ・冬期に凍結のおそれのある場所
- ・平らでない床・弱い床・凸凹な床の上
振動や騒音が大きくなります。
- ・高い置台の上
底部と床のすき間から、お子さまなどが手を入れ、けがをする原因になります。
- ・包装用台座は、据え付け台として使わない
本体故障の原因になります。

2 排水ホースの処理
排水ホースの取り付け

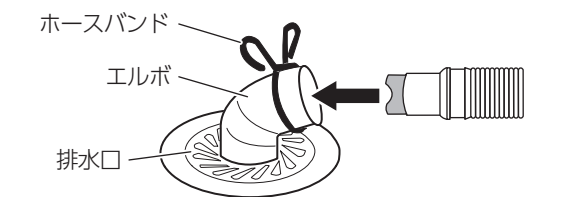
- 1 フックをずらし、排水口に差し込む
スリーブは、ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。
必ず取り付けでご使用ください。
※排水ホースは排水時の水の力や振動などで動く場合があるため、排水口にしっかり差し込み、
抜けないことを確認してください。



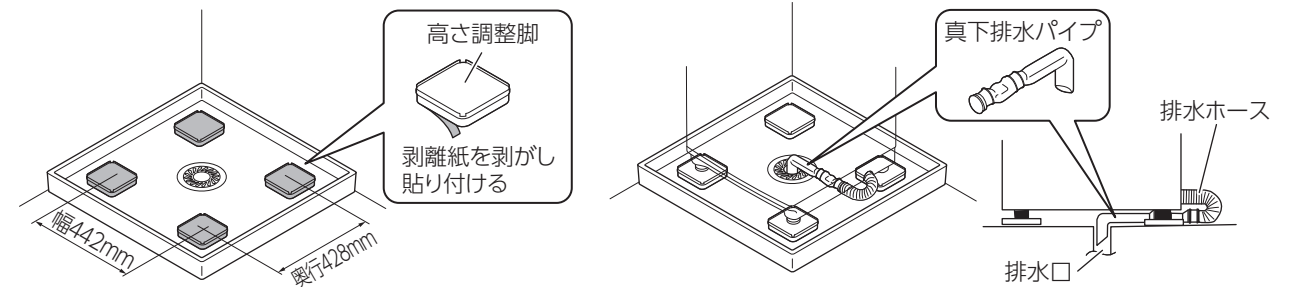
注意

排水ホースは正しく取り付ける
使用中に抜けて、水もれの原因になります。

- 排水口がエルボの場合
排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、
ホースバンドで確実に固定してください。



- 排水口が本体の下にくる場合
市販の「真下排水パイプ」と「高さ調整脚」をご使用ください。
※取り付け方法は、それぞれの説明書に従ってください。



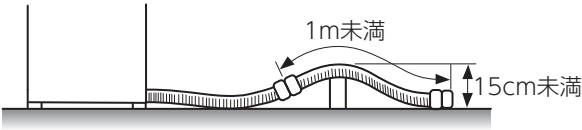
注意

必ず高さ調整脚を敷く
洗濯機が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれするおそれがあります。

本体下の排水口に直接排水ホースを接続しない
内部の回転部品に接触し、ホースの破れや異常音の原因になります。洗濯パンのエルボがある場合は、
エルボを取り外して真下排水パイプをご使用ください。

- 排水ホースを延長する場合
排水ホースの延長が必要なときは、市販の「排水延長ホース」をご使用ください。
排水ホースを延長する場合や敷居を越える場合の高さは、下表に従ってください。

延長ホースの状態	延長ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	15cm未満	1m未満
途中で高くない場合	—	3m未満

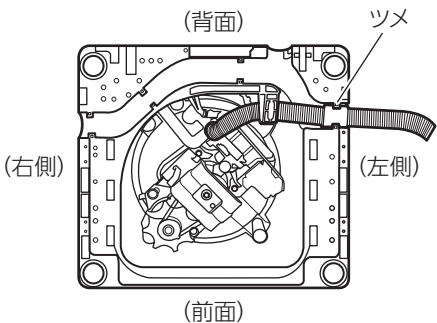


排水口が本体の右側、左側または後ろ側にある場合

注意

本体排水口付け替えの際は、本体排水口のホースのねじれ、折れ曲がり、よじれ、つぶれがないように注意する
水もれの原因になります。

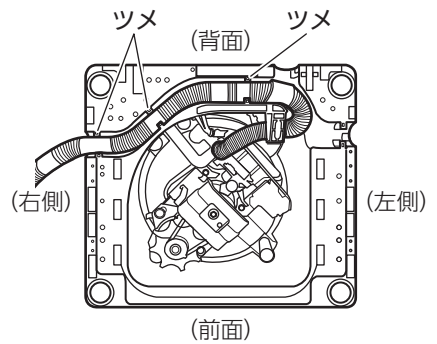
- 1 本体の前面を下にして、毛布や保護マット
などの上に寝かせる
- 2 本体のツメ（1ヶ所）から排水ホースを
外す



- 3 排水ホースを図のツメにはめ込む
※右出しの場合、ツメ 3ヶ所
※後ろ出しの場合、後方ホース出し部のツメ1ヶ所

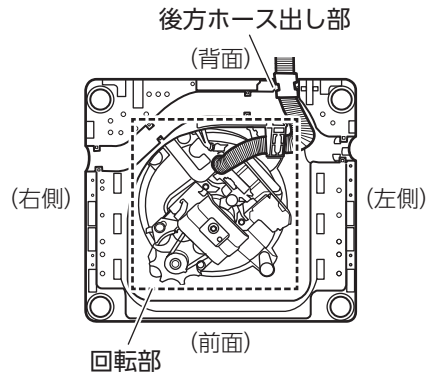
お願い

- 排水ホースがツメでしっかり固定されていることを確認してください。
- 排水ホースが本体内部でねじれていないか確認してください。



注意

排水ホースが回転部などに触れないように
に注意する
水もれの原因になります。



保護カバーの取り付け

警告

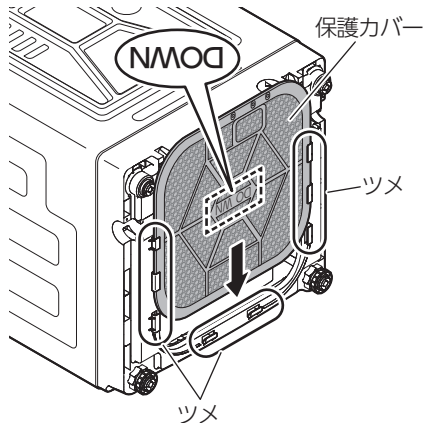
本体底に付属の保護カバーを取り付ける
回転する部分などでけがや感電のおそれがあります。

1 本体の前面を下にして、毛布や保護マット
などの上に寝かせる

2 保護カバーを本体に取り付ける
台板のツメ（8ヶ所）に引っかかるように背面側から保護
カバーをスライドして取り付けます。

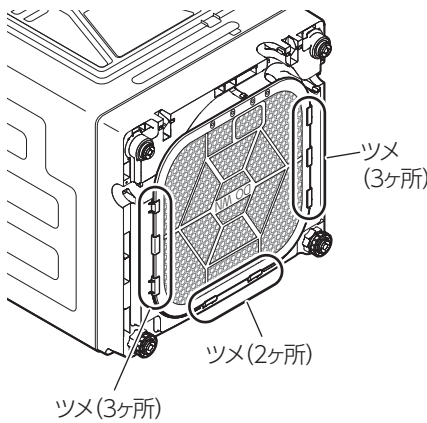
お願い

保護カバーの向きを確認してから取り付けてください。
保護カバーの「UP」を本体側、「DOWN」を下方に
取り付けてください。

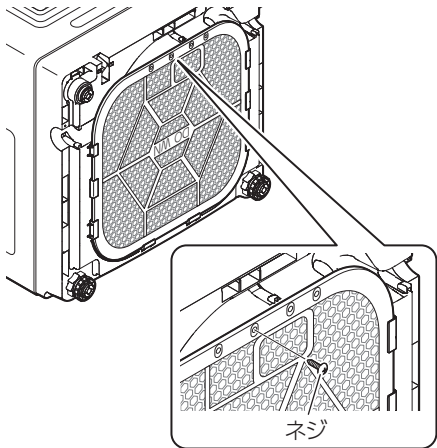


注意

保護カバーが台板のツメにかかっている、
しっかりと取り付けられていることを確認する
正しく取り付けができていないと、保護カバーが
回転部に当たり故障や異音の原因になります。



3 保護カバーを固定する
付属のネジ（1本）で保護カバーを固定します。



3 給水ホースの取り付け

お願い

- 洗濯機を設置する際、給水ホースは必ず付属の給水ホースを使って水栓に接続してください。
古いホースを再利用しないでください。
- 給水ホース、給水栓ジョイントは、付属品または下記のものを使用してください。
- 水栓には給水栓ジョイントが使えるものと使えないものがありますので、ご注意ください。
- 取り付け後に必ず水栓を開き、給水栓ジョイントや給水口から水もれがないか確認してください。
水もれするときは、始めからやり直してください。
- 給湯機設備には取り付けないでください。
- 長期間の使用により水もれした場合は、もう一度始めから取り付け直してください。
それでも不具合のある場合は、給水栓ジョイント、または水栓を交換してください。

水栓の形状を確認する

付属の給水栓ジョイントで取り付けできます。

横水栓	角口水栓	オートストッパー水栓（洗濯機用）
付属の給水栓ジョイントを取り付けてください。 		直接、給水ホースの取り付けができます。 付属の給水栓ジョイントは使用しません。

以下の水栓は市販の給水栓ジョイント CB-J6（JEM1206 準拠）が必要になります。

万能ホーム水栓	自在水栓	カップリング横水栓／ワンタッチ水栓

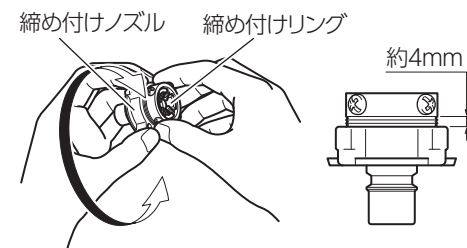
※市販の給水栓ジョイントを取り付けた場合は、付属の給水栓ジョイントは使用しません。
直接、給水ホースを取り付けてください。

※日本電機工業会規格JEM1206に準拠している水栓をご使用ください。ご不明な場合はお近くの水道工事店にご相談ください。

給水栓ジョイントの取り付け

1 すき間を約4mmにする

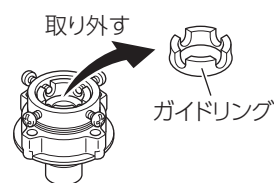
締め付けノズルを回して、締め付けリングと締め付けノズルのすき間を約4mmにします。



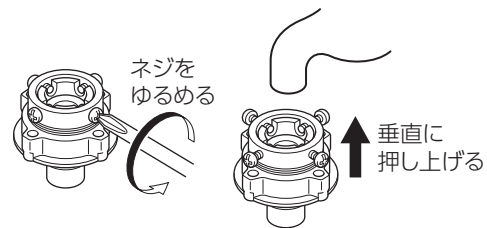
2 ネジをゆるめ、蛇口に付ける

給水栓ジョイントのネジ（4本）をゆるめて、水栓に垂直に押し上げて付けます。

水栓の口径が、17mm 以上の場合

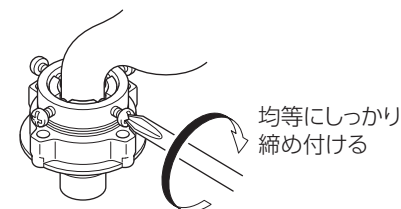


ネジ（4本）をいっばいにゆるめて、ガイドリングを取り外してください。



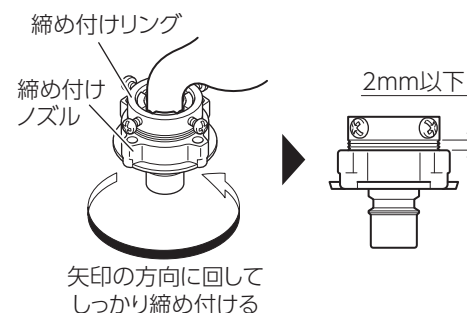
3 ネジを均等に締め付ける

水栓が中心になるように、ネジ（4本）を均等にしっかり締め付けます。



4 締め付けノズルを回し、しっかり締め付ける

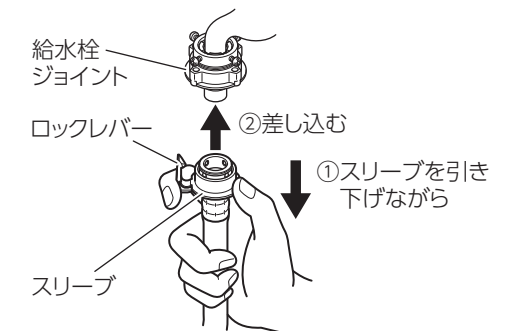
締め付け後、締め付けリングと締め付けノズルのすき間が 2mm 以下になっていることを確認してください。
※締め付けることによって給水栓ジョイント内のゴムパッキンと水栓の先端が密着し、水もれを防止します。



給水ホースの延長が必要なときは、市販の「給水延長ホース」をご使用ください。

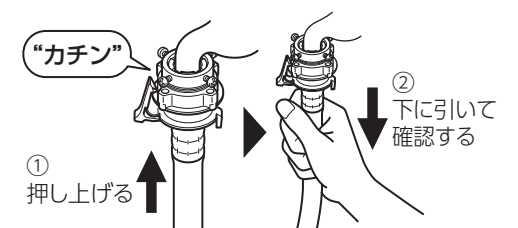
給水ホースを取り付ける

1 スリーブを引き下げながら給水栓ジョイント（もしくはオートストッパー水栓）に差し込む

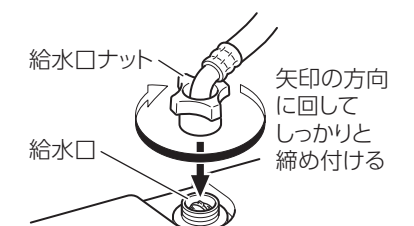


2 スリーブをはなし、「カチン」と音がするまで押し上げる

ロックレバーがかかっているのを確認した後、給水ホースを下へ引き、完全に取り付けができているか確認します。
※ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。（水もれのおそれがあります）



3 給水口ナットを給水口にあてがい、傾きのないように確実に締め付ける



給水ホースの外しかた

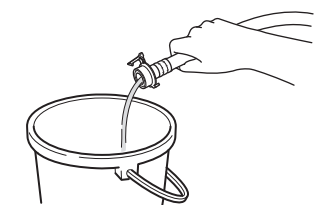
給水ホースをそのまま外すと水が飛び散りますので、次の手順で水抜きを行なってください。

1 水栓を閉じる

2 電源を入れ、スタート一時停止（ロック解除）を押す

3 約70秒後に電源を切ってから給水ホースの水栓（蛇口）側を外して、ホース内の水をバケツなどに排水する

給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。



4 給水ホースの給水口ナット（本体側）を外す

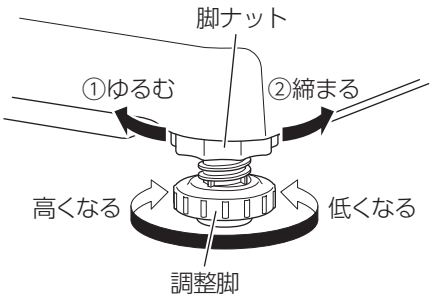
給水口ナットを外すときに、給水ホース内の残水がたれることがあります。
給水口ナットの先にバケツなどの容器を置か雑巾などで水を受けてください。



4 水平の確認と調整

1 水平を確認する
水平でないときは、前側2ヶ所の
高さ調整脚を回して調整する

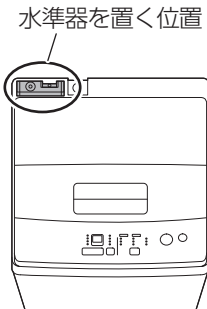
- 市販の水準器で調整することをおすすめします。
- 一度、脚ナットを①の方向に回してゆるめて、調整脚を回してがたつきを調整してください。
 - 調整後は、必ず脚ナットを「②締まる」の方向に回して、しっかり固定してください。
 - 本体前側の底部が床に当たったり、洗濯機トレーのコーナー部などに乗り上げたりしないようにしてください。振動や異常音の原因になります。



2 洗濯機の対角をおさえて、がたつきがないか確認する

お願い

本体が水平でなかったり、がたつきがある場合、脱水時の振動音が大きくなるため、必ず水平とがたつきを確認してください。



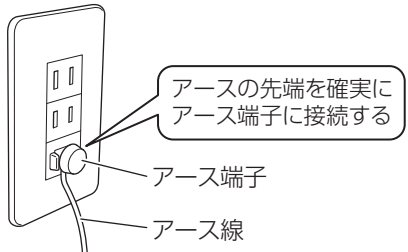
5 アース・電源

警告



- 万一の感電防止のため、アースを確実に取り付ける**
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。また、漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。(詳しくはお近くの電気工事店にご相談ください。)
- アースの付け外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
 - 設置場所の変更や転居の際にも、必ずアースを取り付けてください。

■コンセントにアース端子がある場合



■コンセントにアース端子がない場合

法令により電気工事士による D 種接地工事が必要です。
詳しくはお近くの電気工事店にご相談ください。

お願い

ガス管、電話線や避雷針、水道管には接続しないでください。法令などで禁止されています。

6 設置確認・試運転

設置後は試運転を行ない、水もれ、給水、排水、異常振動、異常音などを確認してください。
洗濯・脱水槽内には、何も入れないで次の手順で試運転をしてください。

- 1 水栓を開き、 電源を入れる
- 2 を押し、洗い運転をする
水もれ・本体エラー表示などの異常がないことを確認してください。
- 3 電源を切る
- 4 再度、電源を入れる
- 5 を押して「脱水」のみの設定をする
(取扱説明書「運転内容をお好みで変更する」参照)
- 6 を押し、異常音・異常振動・エラー表示がなく、脱水がされていることを確認する
- 7 電源を切り、水栓を閉じる

設置後は、以下のことを必ずチェックしてください。

電源コード	交流 100V で定格 15A 以上のコンセントを単独で使っていますか？ コンセントのゆるみや電源コードや電源プラグの傷みはありませんか？	☐
アース	アースは取り付けてありますか？ 感電防止のため、必ずアースを取り付けてください。	☐
給水ホース	水栓や本体の給水ホース接続部に水もれはありませんか？	☐
	にごった水が出ませんか？	☐
	排水口に糸くずなどのごみがたまっていますか？ 排水口は定期的にチェックしてください。	☐
	排水口が本体の下にある以外で、排水ホースが本体の下に入っていないですか？ 排水ホースに、ねじれ、折れ曲がり、よじれ、つぶれはありませんか？	☐
本体	排水ホースが 15cm 以上持ち上がっているところはありませんか？	☐
	本体の対角線上の角を押したときにがたつきがありませんか？	☐
	脚ナットはしっかり締まっていますか？	☐
	試運転で異常音や水もれはありませんか？ 正常に排水されていますか？ 電源コード、アース、ホースが本体に接触していませんか？	☐

MUJI 無印良品

株式会社 良品計画

お客様相談室  0120-14-6404

www.muji.com

無印良品修理工房 050-3311-8877